

都道府県名：新潟県 団体名：川西土地改良区 かわにしとちかいりょうく

地 域

川西土地改良区は、新潟県の南部の十日町市（旧川西町）に位置しています。本地域は全国有数の豪雪地帯として知られており、積雪量は例年2～3m、さらに豪雪の年は4mを超えます。そのため、12月～2月の期間に年間降水量の約4割が集中しています。多くの雪が積もり、雪解けが遅いため、春は短く、夏は湿度が高いのも地域の大きな特徴のひとつです。

川西土地改良区の区域は、南北に縦貫する中部丘陵地を境に、渋海川沿いの中山間地域の西部地区と、信濃川左岸側の河岸段丘面に多くの農地がある東部地区に大別されます。東部地区では特に流域が狭いため昔から常に水不足で悩まされてきました。そのため、昭和27年以降、5本の一級河川の最上位にダムを築堤し使用しています。

経 緯

農業用水と水源林の関係性を伝え、豊かな森林に恵まれた本地区で農業が守り続けられてきていることを、地域の未来の農業を担う小学生たちに理解してもらうことが未来へと繋がると考え、小学校の総合学習や緑の少年団活動を通じて、森林を守り水源を守ることの大切さを啓発する活動を行っています。

功績内容

- ・管内および近隣の小学校の総合学習や社会科の時間に、移動可能なジオラマやパネル等の教材を用いた学習会を開催し、森林保護、管理の必要性について啓発活動を行っています。
- ・地域のイベントや図書館等において、展示会や広報活動を行い、広範囲の人々に対しても啓発活動を行っています。
- ・森林組合の広報誌に活動状況を寄稿し掲載していただくなど、連携した活動を行っています。



故郷を知り、森林の大切さを学習



学校林を整備し、管理の必要性を学習



森林からダムへの流入について学習



一般消費者に森林保護の大切さを説明